



MEDIPOLIS

MEDICAL RESEARCH INSTITUTE

メディポリス指宿通信 2022年3月号

★ 陽子線が身近な治療に！

1月、厚生労働省の先進医療会議で、切除できない肝内胆管がんや大型の肝細胞がんなどの粒子線治療は、従来療法より生存率の改善が明確に示されるなど「十分な科学的根拠がある」との見解がまとめられました。

この先進医療会議の見解をもとに中央社会保険医療協議会（中医協）が全額保険適用への移行を議論し、認められれば今年4月から、陽子線治療の公的医療保険範囲が拡大される見込みです。

まだ確定ではございませんが、今後更なる治療の選択肢の広がりが期待されます。



【治療の特徴】

- ①治療時の苦痛がほとんどない
- ②副作用の心配が少ない
- ③治療は1日1回・10～30分程度
- ④基本的に入院の必要が無い
- ⑤スケジュール通りに治療が完了できる

がん陽子線治療 公的医療保険の 適用範囲拡大に向けて

大型の肝細胞がん、肝内胆管がん、局所進行腺がん、大腸がん術後局所再発（いずれも切除不能のものに限る）の陽子線治療に、公的医療保険（国民健康保険、社会保険等）が使えるようになる見込みです。高額療養費制度対象となり、治療負担が大きく軽減され、より身近で受けやすい治療の選択肢となります。

現在

- 前立腺がん
※転移を有するものを除く
- 頭頸部腫瘍
※口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く
- 骨軟部腫瘍
※手術による根治的な治療法が困難であるもの
- 小児がん
※限局性の固形悪性腫瘍に限る

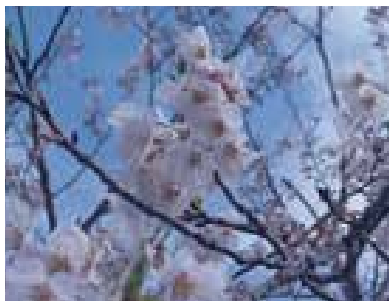
2022年4月から（見込）

- 大型の肝細胞がん
- 肝内胆管がん
- 局所進行腺がん
- 大腸がん術後局所再発
※いずれも切除不能のものに限る

★ 春が待ち遠しく



例年3月下旬に、敷地内の桜が満開になります。花見の季節ですが、でもなぜ、桜の木の下で花見をするのでしょうか？八百万の神の中に、山や田の神「サ」神が存在しました。「クラ」とは神が鎮まる座を意味し、サ神がその根元に鎮座したとされる木を「サクラ」と呼ぶようになり、サ神を信仰する農民は桜の木に供え物をし、豊作を祈り、宴を行うようになったそうです。新型コロナウイルス感染予防のため、大人数での宴会はできそうにありませんが、感染予防対策をしっかりと行い、密を避けて少人数で桜を見に出かけたら、リフレッシュできると思います。



メディポリス入り口からの桜並木

★ お問い合わせ

一般社団法人 メディポリス医学研究所
メディポリス国際陽子線治療センター
〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423番地
【治療相談】 ☎ 0120-804-881

★ お知らせ



さまざまな SNS でメディポリスの情報を発信しております。QRコードを読み込んでいただき、是非ごらんになってください！



ホームページ

Instagram・Facebook・LINE も更新しております！

YouTube

★ がん陽子線治療の内容、隣接ホテルを動画紹介

陽子線治療、治療までの流れ、隣接ホテル紹介など、YouTube 動画で無料配信しております。事前に視聴されて、治療内容やホテルの事が理解でき、安心して治療に来られたというお声を頂いています。皆様もチャンネル登録いただき、ご視聴下さい。



がん治療講座【患者さんのために①口ケアのプロセス改善】



YouTubeでメディポリスの無料動画を配信しています。お手持ちの携帯電話・スマートフォンでQRコードを読み込んで是非ご覧ください。



★ メディポリスよもやま話 [その⑩・理想の嫁?]

先日、認知症対応力向上を目的にした研修に参加しました。講義の中で、生まれてくる子どもが男の子であるように願ったのは昔の話で、今どきは女の子を望む親御さんが増えているとのことでした。その理由は様々ある中で、老後のサポートを頼みやすいという心理も働いているらしいです。

Hさんは前立腺がんの治療を受けるため、2011年4月に隣県から指宿にやってきた。

当院が先進医療施設として国から認定を受け、診療を開始した当初である。

私たちは経験少ない陽子線治療について、より安全な行程をつくろうと、患者さんの反応や意見をつぶさに記録し、陽子線治療による副作用の出方や毎日の心理的な変化など、時間を掛けて丁寧に患者さんを看ていた。当時は照射回数が現在より長く、Hさんは2カ月の滞在であり、今思うと毎日の聞き取りの積み重ねで、看護師と患者の距離が近く、終盤はだいぶ打ち解けた関係であった。

当時は陽子線治療の認知度が非常に低く、治療に来たはいいが何がどうなっただんが死滅しているのか理解できていない方は殆どいなかった。そのため、陽子線治療装置の見学会は治療の理解を深めるために重要なイベントであり、看護師もサポートをしながら参加していた。

ある日の見学会中、私は見学ルートの安全確認を終えて、待合椅子に座っていた。そこに見学集団から外れてHさんが腰かけた。腰痛持ちのHさんには歩く時間が長く辛かったのかもと考えながら「どうしましたか?」と声をかけた。

Hさんはやや恥ずかし気な笑顔と小さな声で『この看護師さんの中で独身はいる?』

Hさんの意図はこうだ、40歳の息子に未だ嫁が来る兆しが無い、しかし、センターの看護師であれば皆優しいし誰が来ても歓迎する。優しい+病気に理解がある看護師は嫁に最高だ!

Hさんに伝えなかった。看護師が患者さんに優しいのは仕事だからだ。どんなに優しい看護師も、自分の旦那に優しいとは限らないのだ。



★ 治療症例実績数 4749 件

・前立腺	2276	・睪	308	・骨軟部	109	・乳がんの術後照射 (外国人含む)	3
・肝・胆管	693	・転移 (リンパ節)	318	・腎	28	・早期乳がんの非手術治療	13
・肺	618	・頭頸部	210	・その他	173		

(2022年2月11日現在)